

技術構造

—— 個人技術とチーム技術(連携技術)の融合 ——

ゲートボールの技術構造は、クロッケーに似ています。それは常に1人の競技者でゲームを進行することから「個人技術」の完成度が要求されるからです。さらに、打順ごとに展開されるゲーム技術(チーム作戦)は、ゲームに緊張感を与えると同時に、観戦する側もゲーム展開を予測しながら楽しめる「頭脳ゲーム」の一つといえます。ゲートボールの技術構造は、次のように要約されます。

④打撃は「ボール・コントロール」の技術がすべてであり、チームまたは個人の「ゲーム展開の予測」や「集中力」といったメンタル・コントロール能力が深く関係します。

④「チーム技術」は、常に1人の競技者でゲームを進行することから、チームの次打者につなぐ「連携技術」が重要となります。したがって、個人技術以外の「チームワーク」という精神的要素が要求される場面が多くなります。

④「ゲーム技術」(チーム作戦)は、ボールの配置とタッチプレーによる「自チームが得点するための作戦」(攻撃的プレー)と「相手チームの得点を阻止する作戦」(防御的プレー)に区分されます。さらにチーム作戦の適否がゲームの勝敗を左右しやすく、個人技術とチーム技術との関連も強いといえます。

